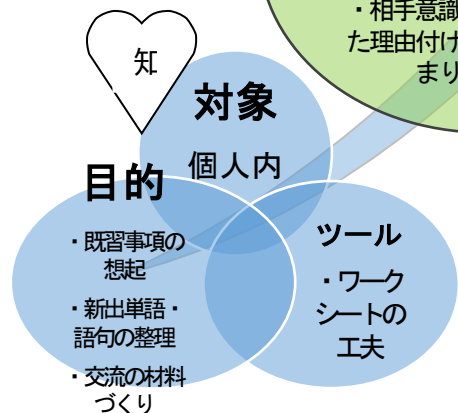
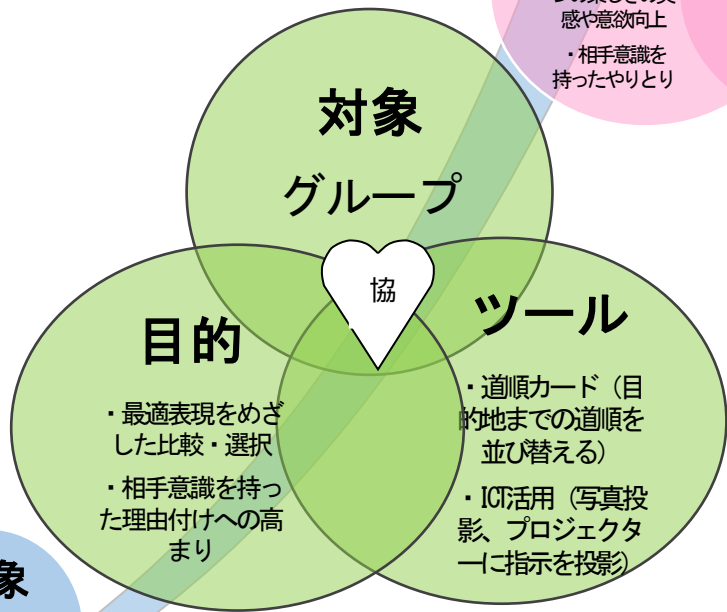
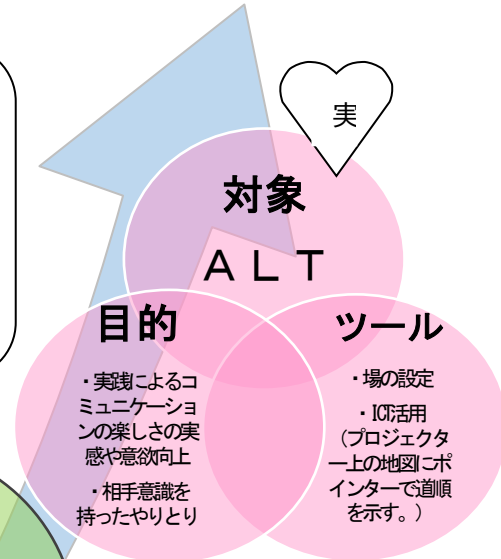


## ☆今回のポイント☆

### ◎「知(力)→協(力)→実(力)」を意識した単元設計

昨年度テーマ「必然性のある学習課題設定」を意識した「場面設定(ALTに島本紹介を意図した道案内をする)」が子どもたちにとって魅力的だった。

その上で、充実したインプットから一人ひとりの実力が発揮できるようなアウトプットをつなぐ「協力」の場での「かかわり」のしかけが有効だった。



**<今後の課題>**

- ・グループでの「思考力、判断力、表現力」の育成場面で、何をもちてどのように評価するのか。
- ・集団思考場面でもタブレット等の活用で、より効果的な手法を模索する。
- ・外国語科の授業として、英語の発話量をもっと増やしていくこと。

本年度最初の校内授業研がやっと実施できました。提案授業をしてくださった笠原先生、宮里先生、マリビック先生をはじめ、5年生の学年グループ、外国語 WG の皆さん本当にありがとうございました。少人数での協議スタイルも有意義で充実した研究協議会になりました。

全員で「共有」し、「だれでも」できることにしていくために、「短期目標としてこれだけは！」という共通認識にしていくべきことを提案していきます。

### ◎「かかわり」の対象設定には、順序に意味がある！

**<インプット>**

まずは、「個」で考える時間と場の保障。テキスト(ここでは英語そのもの)とのかかわり。

**<アウトプット>**

わかった！できた！という達成感。グループでの活動があるからこそ最終的な個人思考。

個人

グループ

ALT(個人)

**<インテイク>** (友だちと一緒に作りあげる楽しさの中で)

①「個」の考えを持ち寄ることで互いの考えの「理由」を聴き合う必然性が生まれ、最適化を図ることで思考を深めている。  
(今回は ALT に島本を紹介するという相手意識を持たせたことでアイデアに広がり生まれた。)

②しんどい子が自信を持ちやすく、得意な子もより活躍できる。



**<授業者の発問や指示>**

①考える内容(どのルートが最適か)、比較選択の条件(ALT を喜ばせる)を子どもたちに提示。

②PPTでの手順指示。個→班→個→班のスムーズステップ設定。

**※なぜ、ここでグループ活動が必要かという目的を明確化！**

### ◎個人での思考場面にワークシートの工夫が有効！

ねらいに沿って単純化した図・選択するだけのシンプルな作業

しんどい子が  
「やれるかも！やれそう！」という見通しが持てるもの。

### ◎グループの話し合い場面にカードやボードが有効！

参加できる作業・役割分担・得意な子がより活躍できる負荷

得意な子が  
「You can～」の工夫は私がかんばろう！と思えるもの。

研究主題: 考え、かかわり、学びをつなぐ 力をもった児童の育成  
～思考を広げ、深める「かかわり」のしかけの工夫(2年次)～